

2023年度 第1四半期決算 電話会議 資料

2023年8月8日（火）

MS&AD

INSURANCE GROUP

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

1

本日のポイント（2023年度第1四半期業績）

- 正味収入保険料は、+1,092億円（+10.6%）の1兆1,362億円
- 四半期純利益は、国内損保および国内生保の増益を主因に334億円増益の1,116億円 進捗率は37.2%
- グループ修正利益は1,135億円 進捗率は32.5%

国内損保	国内自然災害ロスや新型コロナ関連ロスの減少を主因に保険引受利益が増加したことや資産運用損益が増加したことから、260億円の増益
国内生保	MSA生命が新型コロナによる給付金の減少を主因に増益、MSP生命も利ざやの増加や金利・為替影響の改善などにより増益となったことから、126億円の増益
海外子会社	MS Amlinにおいてロシア・ウクライナ関連ロスの減少などにより保険サービス損益が増加した一方、金融損益が前年同期の保険負債割引のプラス影響（IFRS第17号遡及適用によるもの）の剥落および当期の金利低下に伴う保険負債割引額の縮小により減少し、純利益は前期と同水準（遡及適用前ベースでは182億円の増益）

※ 2023年度第1四半期の期首より、国際財務報告基準（IFRS）を適用している在外連結子会社及び在外持分法適用会社において、IFRS第17号「保険契約」を適用しており、2022年度第1四半期に係る数値は当該会計基準を遡及適用した後の数値となっております。

一連の報道について	<ul style="list-style-type: none">• 当社グループでは、一連の報道につきお客さまやステークホルダーの皆さまにご迷惑とご心配をおかけしたことを重大に受け止めており、十分な調査を実施したうえで再発防止の徹底を図る所存• 共同保険契約の更改対応にかかる保険料調整については、三井住友海上およびあいおいニッセイ同和損保において社内調査委員会を設置し実態解明に全力を尽くすとともに、実効性ある再発防止策を着実に実行する• ビッグモーター社による保険金の不正請求については、過去にご契約のお車または事故の相手方のお車を同社で修理された事案を対象に調査を開始、お客さまへ丁寧に説明し、お客さまの要望に沿った対応を進める
-----------	---

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

2

目次

2023年度第1四半期決算の概要

グループ連結	P4-9
国内損害保険会社	P10-13
国内生命保険会社	P14-16
海外保険子会社	P17-19
資料	P20-27

※ 決算データにつきましては、当社ホームページに掲載しています「国内損保決算データ集(Excelファイル)」をあわせてご参照ください。

グループ連結

①トップライン

- 正味収入保険料は、国内損保・海外保険子会社ともに増収
- 国内損保は主要2社が増収 海外保険子会社はMS Amlinの増収を主因に除く為替影響でも526億円の増収

損保子会社

(億円)

	2022年度 第1四半期	2023年度 第1四半期	増収	
			前年同期比	増収率
元受正味保険料（除く収入積立保険料）	11,048	12,004	955	8.6%
正味収入保険料	10,269	11,362	1,092	10.6%
三井住友海上	3,914	3,958	44	1.1%
あいおいニッセイ同和損保	3,225	3,329	104	3.3%
三井ダイレクト損保	86	85	△0	△0.9%
海外保険子会社	3,042	3,985	942	31.0%

生保子会社

(億円)

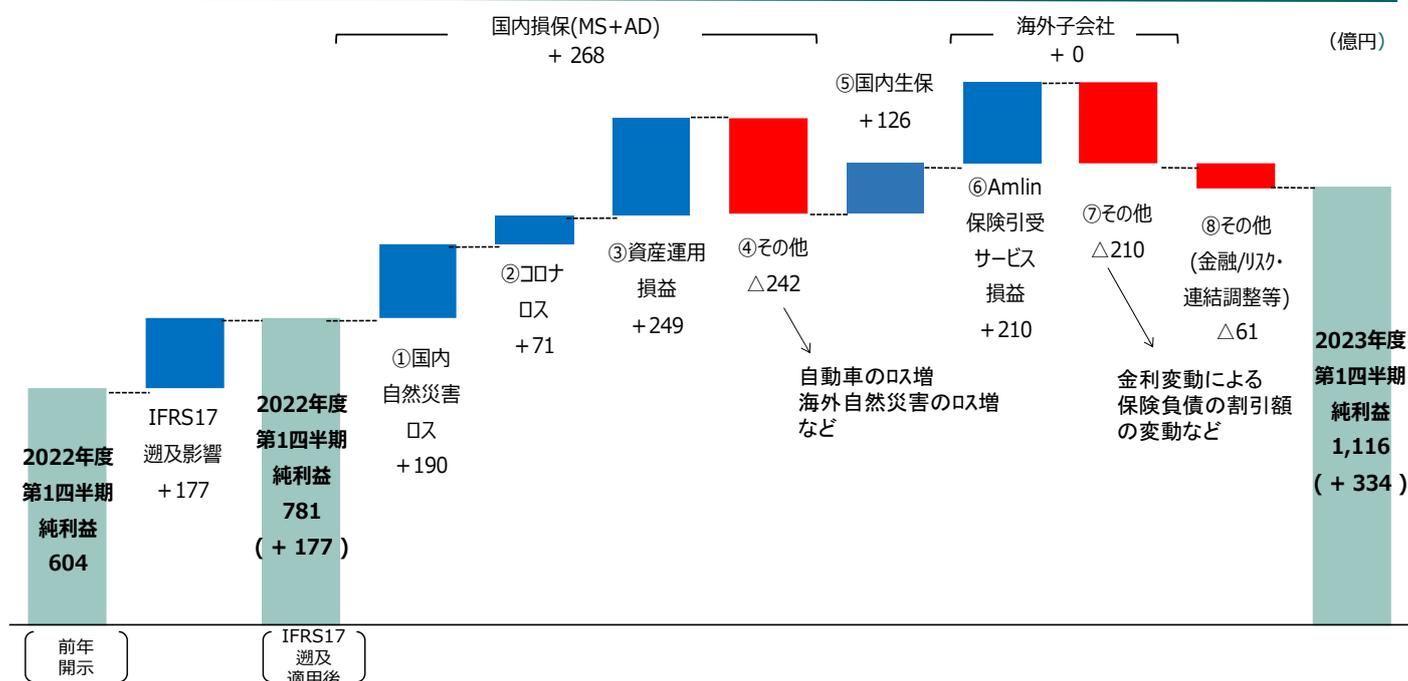
	2022年度 第1四半期	2023年度 第1四半期	増収	
			前年同期比	増収率
保険料（グロス収入保険料）※	3,728	3,949	220	5.9%
三井住友海上あいおい生命	1,171	1,137	△34	△2.9%
三井住友海上プライマリー生命	2,557	2,811	254	10.0%
生命保険料	△1,566	2,144	3,710	-

※ 保険料（グロス収入保険料）は国内生保子会社のみ

②ボトムライン（連結四半期純利益）

- 国内損保は①国内自然災害ロスや②新型コロナ関連ロスの減少、③資産運用損益の増加などにより、268億円増益
- 国内生保はMSP生命の利ざやの増加や金利・為替影響の改善などにより126億円増益
- 海外保険子会社は、MS Amlinにおいて、ロシア・ウクライナ関連ロスの減少などにより保険サービス損益が増加した一方、金融損益が保険負債の割引額の変動などにより減少したため、純利益は前期と同水準（IFRS17遡及適用前ベースでは182億円の増益）

連結四半期純利益



③ボトムライン（会社別利益の内訳）

（億円）

	2022年度		2023年度		2023年度通期予想	
	第1四半期	第1四半期	前年同期比	増減率	進捗率	
経常利益	1,155	1,554	399	34.5%	4,200	-
三井住友海上	534	894	359	67.4%	1,850	-
あいおいニッセイ同和損保	360	345	△ 15	△ 4.2%	900	-
三井ダイレクト損保	10	3	△ 7	△ 67.3%	-	-
三井住友海上あいおい生命	87	112	24	28.5%	-	-
三井住友海上プライマリー生命	54	209	154	282.5%	-	-
海外保険子会社	231	193	△ 38	△ 16.7%	-	-
その他・連結調整等	△ 124	△ 204	△ 79	-	-	-
四半期純利益 [※]	781	1,116	334	42.8%	3,000	37.2%
三井住友海上	429	693	263	61.5%	1,420	48.8%
あいおいニッセイ同和損保	239	244	4	1.9%	600	40.7%
三井ダイレクト損保	10	2	△ 7	△ 74.8%	△ 9	-
三井住友海上あいおい生命	53	70	16	30.9%	250	28.3%
三井住友海上プライマリー生命	32	143	110	335.3%	160	89.5%
海外保険子会社	156	157	0	0.4%	1,180	13.3%
その他・連結調整等	△ 141	△ 194	△ 53	-	△ 601	-

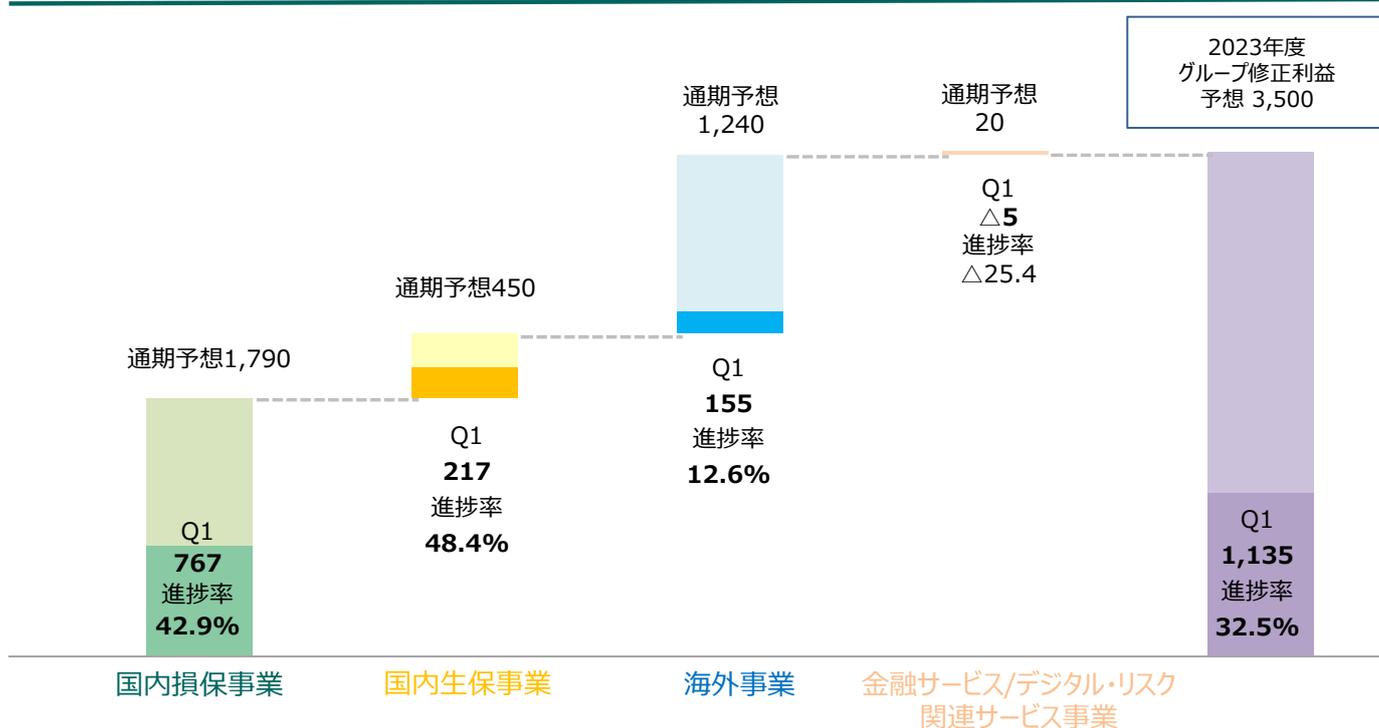
※連結の四半期純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益 子会社の四半期純利益は出資持分ベース（以下同じ）

④ボトムライン（グループ修正利益）

- グループ修正利益は、通期予想3,500億円に対し、進捗率32.5%の1,135億円
- 国内損保、国内生保は順調、海外事業はMS Amlinの金融損益およびその他損益の影響により12.6%の進捗
→MS Amlinの詳細はP.19を参照

グループ修正利益の四半期進捗

（億円）



⑤ボトムライン（グループ修正利益の内訳）

（億円）

	2022年度 第1四半期		2023年度 第1四半期		通期予想	
	前年開示金額	IFRS第17号 遡及適用後		前年同期比 ^{※1}		進捗率
グループ修正利益	550	727	1,135	408	3,500	32.5%
国内損保事業	492	487	767	280	1,790	42.9%
国内生保事業	95	95	217	122	450	48.4%
海外事業	△ 34	147	155	7	1,240	12.6%
金融サービス事業/デジタル・リスク関連事業	△ 2	△ 2	△ 5	△ 2	20	△ 25.4%

※1 IFRS第17号遡及適用後の前年同期数値と比較している

（参考）

$$\begin{array}{c} \text{グループ} \\ \text{修正利益} \\ \mathbf{1,135} \end{array} = \begin{array}{c} \text{連結} \\ \text{四半期純利益} \\ \mathbf{1,116} \end{array} + \begin{array}{c} \text{異常危険準備金等} \\ \text{繰入・戻入額}^{\text{※2}} \\ \mathbf{\Delta 81} \end{array} - \begin{array}{c} \text{その他} \\ \text{特殊要因}^{\text{※3}} \\ \mathbf{\Delta 99} \end{array} + \begin{array}{c} \text{非連結} \\ \text{グループ会社} \\ \text{持分利益} \\ \mathbf{1} \end{array}$$

※2 繰入の場合は加算、戻入の場合は減算

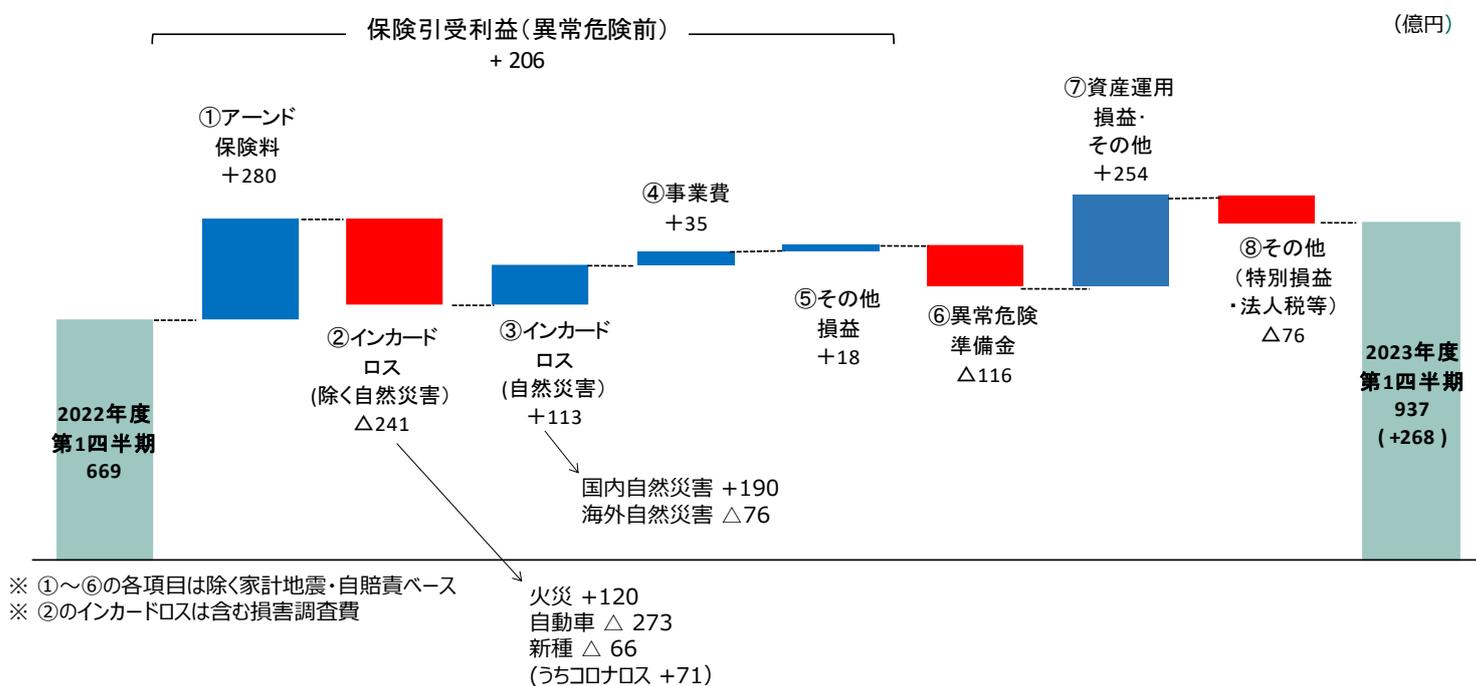
※3 のれん償却等△87

国内損害保険会社

①ボトムライン (MS+AD)

- ・ 保険引受利益は、自動車保険のロスが増加したものの、自然災害ロスの減少や新型コロナロスの剥落により増益
- ・ 資産運用損益は、有価証券売却益の増加や利配収入の増加により増益

四半期純利益(MS+AD)



②自然災害の状況

- ・ 国内自然災害は、雹災(2022年6月)があった前年同期と比較して2社計で△190億円の減少
- ・ 海外自然災害は、ADで+76億円、MS Amlinで+23億円の増加

国内自然災害の影響

	インカードロス			インカードロス 通期予想	(参考：第1四半期) 出再控除前 台風2号 161
	2022年度 第1四半期	2023年度 第1四半期	前年同期比		
三井住友海上	193	100	△92	490	
あいおいニッセイ同和損保	192	94	△97	395	
合計	385	194	△190	885	

海外自然災害の影響

	インカードロス			インカードロス 通期予想
	2022年度 第1四半期	2023年度 第1四半期	前年同期比	
あいおいニッセイ同和損保	33	110	76	115
MS Amlin	35	58	23	412
合計	68	169	100	527

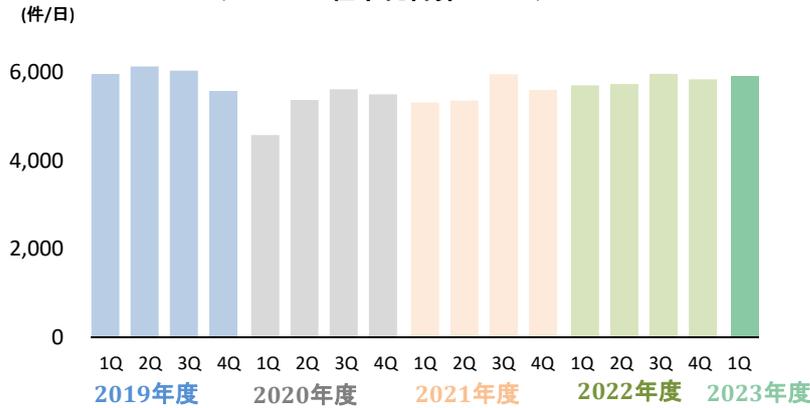
※ 海外自然災害の集計範囲は社内管理ベース

③自動車保険の状況

- 2023年度第1四半期の事故件数は、前年同期比3.6%の増加
- EI損害率は2.0pt上昇の64.8%

事故件数の推移（国内、1日あたり、除く自然災害）

（MS・AD 2社単純合算ベース）



EI 損害率の推移（含む損害調査費）

（MS・AD 2社単純合算ベース）



保険料・保険金

三井住友海上

<国内・営業ベース>	契約台数	保険料単価	保険料
保険料増減要因	+0.2%	+0.5%	+0.9%
<国内>	対物	車両（除く自然災害）	
保険金単価増減	+1.5%	+1.4%	

あいおいニッセイ同和損保

<国内・営業ベース>	契約台数	保険料単価	保険料
保険料増減要因	+0.2%	+0.3%	+0.9%
<国内>	対物	車両（除く自然災害）	
保険金単価増減	+1.6%	+2.1%	

※ 保険料増減要因の諸数値は営業成績ベース（4-6月）の対前年同期比

※ 保険金単価の増減は、2023年3月末過去1年間の保険金単価に対する、2023年6月末過去1年間の保険金単価の増減を表示

※ EI損害率算出対象期間は、各年度の4-6月

国内生命保険会社

①三井住友海上あいおい生命

- 新契約年換算保険料は、昨年発売したガン保険の販売好調等により前期比+1.8%
- 四半期純利益は、新型コロナ影響の剥落を主因に16億円の増益

三井住友海上あいおい生命

(億円)

	2022年度		2023年度		前年同期差	増減率
	第1四半期		第1四半期			
新契約高 (個人合計)	3,381		3,101		△ 280	△ 8.3%
新契約年換算保険料	57		58		1	1.8%
うち 第三分野	27		30		2	10.1%
保有契約高 (個人合計)	(期首)	232,499	230,493	(期首比)	△ 2,005	△ 0.9%
保有契約年換算保険料	(期首)	4,405	4,384	(期首比)	△ 20	△ 0.5%
うち 第三分野	(期首)	1,575	1,583	(期首比)	8	0.5%
保険料 (グロス収入保険料)	1,171		1,137		△ 34	△ 2.9%
経常利益	87		112		24	28.5%
特別損益	△ 3		△ 3		0	-
四半期純利益	53		70		16	30.9%
基礎利益 ※	74		97		22	30.2%

※ 2023年度第1四半期から、基礎利益上における為替に係るヘッジコストの算出方法を変更しております。
これに伴い、2022年度第1四半期も同じ方法により算出した数値で記載しております。

②三井住友海上プライマリー生命

- グロス収入保険料は、好調な市場環境等を背景に順調に推移し、10.0%の増収
- 四半期純利益は、利息及び配当金収入が増加したことや、金利・為替影響が増加したことなどを主因に110億円増益の143億円

三井住友海上プライマリー生命

(億円)

	2022年度		2023年度		前年同期比	増減率
	第1四半期		第1四半期			
新契約高 (個人合計)	2,628		3,023		395	15.0%
保有契約高 (個人合計)	(期首)	69,322	74,437	(期首比)	5,115	7.4%
保険料 (グロス収入保険料)	2,557		2,811		254	10.0%
経常利益	54		209		154	282.5%
特別損益	△ 9		△ 11		△ 1	-
価格変動準備金繰入・戻入	△ 9		△ 11		△ 1	-
四半期純利益	32		143		110	335.3%

金利・為替影響

(億円)

	2022年度	2023年度
	第1四半期	第1四半期
金利影響	△ 217	△ 160
為替影響	119	188
合計	△ 97	27

※ 当期の価格変動準備金は法定繰入のみ実施

海外保険子会社

①業績概要

- 正味収入保険料は、新規引受の拡大や保険料率の引上げ等により増収したMS Amlinを含む欧州をはじめ、アジア、米州ともに増収
- 四半期純利益は、前年同期とほぼ同じ157億円（前年開示金額比では+182億円）
- アジア、米州、海外生保で増益した一方、欧州では、MS Amlinにおいてロシア・ウクライナ関連ロスの減少などにより保険サービス損益が増加したものの、金融損益が保険負債の割引額の変動などにより縮小した影響により減益となった。

海外保険子会社

(億円)

	2022年度 第1四半期		2023年度 第1四半期		
	前年開示金額	IFRS第17号 遡及適用後		前年同期比 [※]	増減率
正味収入保険料	3,049	3,042	3,985	942	31.0%
アジア	508	510	579	69	13.6%
欧州	2,408	2,400	3,224	824	34.3%
米州	132	132	181	49	37.1%
四半期純利益	△ 25	156	157	0	0.4%
アジア	75	77	92	14	18.8%
欧州	△ 143	54	15	△ 39	△ 71.7%
米州	3	3	13	9	318.8%
海外生保	38	20	36	15	73.9%

※ IFRS第17号遡及適用後の前年同期数値と比較している

② (ご参考) MS Amlin (2023年1-3月期)業績概要※1

- 保険サービス損益は、ロシア・ウクライナ関連ロスの減少、料率引き上げおよびポートフォリオの収益性改善の効果を受けて好調に推移し、前年同期比132百万ポンド改善した
- 金融損益は、投資損益（従来の資産運用損益）が前期比で大きく改善して62百万ポンドとなった一方、金利低下に伴い保険負債の割引額が縮小した影響△30百万ポンドを受けた結果、△8百万ポンドとなった（第2四半期以降、金利水準は上昇傾向）
- その他損益は、過年度保険負債の移転に伴う一過性の影響を主因に△47百万ポンドとなった

(百万ポンド)

	2022年度 第1四半期 (IFRS17適用後)	2023年度 第1四半期	前年同期比
保険サービス損益	△ 79	53	132
金融損益	120	△8	△128
うち投資損益	△ 24	62	87
うち保険金融費用（金利変動）（△）	135	△30	△165
うち保険金融費用（利息相当等）（△）	9	△40	△50
その他損益	0	△47	△47
四半期純利益	20	7	△14

【MS Amlinの保険負債に関する補足】
新会計基準では、保険負債は現在価値に割引いて評価される
収支上の影響は以下のとおり

- （1）当年度引受分の保険負債および過年度引受分の保険負債の変動に係る割引は「保険サービス損益」で認識される
- （2）過年度引受分の保険負債について、金利変動による割引効果の変動および時間が経過することによる割引額の減少は「保険金融費用」で認識される

【参考】保険サービス損益の主な内訳等※2

正味収入保険料	1,406	1,961	555
アード保険料	654	940	286
インカードロス(割引後)	488	561	74
手数料・社費	245	331	86
EI 損害率	74.6%	59.7%	△14.9%
EI 事業費率	37.5%	35.2%	△2.3%
EI コンバインド・レシオ	112.1%	94.9%	△17.2%

大口自然災害ロス（割引前）

(百万ポンド)

2022年度 第1四半期	2023年度 第1四半期	前年同期比
22	36 (トルコ地震)	14

※1 現地管理ベース（当期から主要現法の単純合算値としている）。なお、過年度保険負債移転に係る出再保険料等は保険勘定から除く

※2 正味収入保険料はIFRS4ベース。アード保険料以下は保険サービス損益の内訳を従来の表示区分に組み替えている。ただし、インカードロスが割引後であるなど、取扱いはIFRS17ベース

国内損害保険 主要2社 業績概要①

(億円)

	2社合計(単純合計)		三井住友海上(単体)		あいおいニッセイ同和損保(単体)	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比
正味収入保険料^{※1}	7,288	149	3,958	44	3,329	104
アーンド保険料 ^{※2, ※3}	6,681	280	3,706	171	2,974	109
インカドロス(含む損害調査費) ^{※2}	(-)	127	2,383	28	2,092	99
保険引受に係る事業費 ^{※2}	(-)	△35	1,220	△31	1,055	△3
諸手数料及び集金費 ^{※2}	1,423	△17	730	△22	693	5
営業費及び一般管理費 ^{※2}	852	△17	490	△8	362	△9
保険引受利益(異常危険準備金反映前)	146	206	196	216	△49	△9
異常危険準備金損益	124	△116	37	△45	86	△71
保険引受利益	270	89	234	171	36	△81
EI損害率^{※2}	67.0%	△0.9pt	64.3%	△2.3pt	70.3%	0.7pt
正味損害率 ^{※1}	62.1%	△1.4pt	61.1%	△0.5pt	63.2%	△2.5pt
正味事業費率 ^{※1}	34.2%	△1.0pt	33.2%	△1.1pt	35.3%	△1.0pt
コンバインド・レシオ^{※1}	96.3%	△2.4pt	94.3%	△1.6pt	98.5%	△3.5pt

※1 全種目ベース

※2 除く家計地震・自賠責ベース

※3 アーンド(既経過)保険料は、未経過保険料(除く自然災害責任準備金)・保険料積立金等を調整して算出

国内損害保険 主要2社 業績概要②

(億円)

	2社合計(単純合計)		三井住友海上(単体)		あいおいニッセイ同和損保(単体)	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比
保険引受利益	270	89	234	171	36	△81
ネット利息及び配当金収入	657	15	469	7	188	8
有価証券売却損益	329	175	134	89	195	86
有価証券評価損 (-)	11	△54	9	△46	2	△7
資産運用・その他収支	969	254	660	188	308	65
経常利益	1,239	344	894	359	345	△15
特別損益	△42	27	△14	0	△27	27
税引前四半期純利益	1,197	372	879	360	317	12
法人税等	260	104	186	96	73	7
四半期純利益	937	268	693	263	244	4
	2社合計(単純合計)					
		前年同期比				
(参考) 政策株式削減額	512	210				

正味収入保険料

(億円)

	2社合計(単純合計)			三井住友海上(単体)		あいおいニッセイ 同和損保(単体)	
	2022年度 第1四半期	2023年度 第1四半期	増収率	2023年度 第1四半期	増収率	2023年度 第1四半期	増収率
火災	812	782	△3.7%	433	4.6%	348	△12.4%
海上	218	226	3.8%	212	4.8%	14	△8.5%
傷害	605	619	2.3%	444	3.4%	175	△0.5%
自動車	3,682	3,791	3.0%	1,742	0.5%	2,048	5.1%
自賠責	627	665	6.0%	341	6.2%	323	5.7%
その他	1,192	1,203	0.9%	784	△3.4%	419	10.1%
合計	7,139	7,288	2.1%	3,958	1.1%	3,329	3.3%
除く家計地震・自賠責	6,511	6,623	1.7%	3,616	0.7%	3,006	3.0%

国内損害保険 主要2社 種目別EI損害率(①2社合算ベース)

EI損害率(2社単純合算)

	EI損害率			EI損害率(除く自然災害影響)		
	2022年度 第1四半期	2023年度 第1四半期	前年同期比	2022年度 第1四半期	2023年度 第1四半期	前年同期比
火災 (除く家計地震)	93.1%	79.2%	△13.9pt	75.3%	58.6%	△16.7pt
海上	69.2%	63.5%	△5.7pt	69.2%	63.5%	△5.7pt
傷害	62.2%	55.2%	△7.0pt	62.2%	55.2%	△7.0pt
自動車	62.8%	64.8%	2.0pt	56.3%	63.1%	6.8pt
その他	63.4%	68.0%	4.6pt	63.3%	67.3%	4.0pt
合計 (除く家計地震・自賠責)	67.9%	67.0%	△0.9pt	61.4%	62.4%	1.0pt

※ インカドロス=正味支払保険金+損害調査費+支払備金積増額

※ EI損害率の分母となるアード(既経過)保険料は、未経過保険料(除く自然災害責任準備金)・保険料積立金等を調整して算出

※ 「自然災害影響」は、当年度発生国内自然災害および海外自然災害のインカドロスの金額

EI損害率（三井住友海上（単体）、あいおいニッセイ同和損保（単体））

	EI損害率				EI損害率（除く自然災害影響）			
	三井住友海上（単体）		あいおいニッセイ同和損保（単体）		三井住友海上（単体）		あいおいニッセイ同和損保（単体）	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比
火災 （除く家計地震）	75.4%	△15.8pt	83.7%	△11.5pt	64.2%	△12.0pt	52.2%	△22.2pt
海上	59.6%	△6.1pt	94.0%	△18.7pt	59.6%	△6.1pt	94.0%	△18.7pt
傷害	54.8%	△9.5pt	56.3%	△1.1pt	54.8%	△9.5pt	56.3%	△1.1pt
自動車	61.8%	0.2pt	67.4%	3.5pt	60.3%	5.1pt	65.7%	8.4pt
その他	66.8%	5.0pt	70.6%	3.7pt	66.3%	4.5pt	69.6%	2.7pt
合計 （除く家計地震・自賠償）	64.3%	△2.3pt	70.3%	0.7pt	61.6%	0.5pt	63.4%	1.7pt

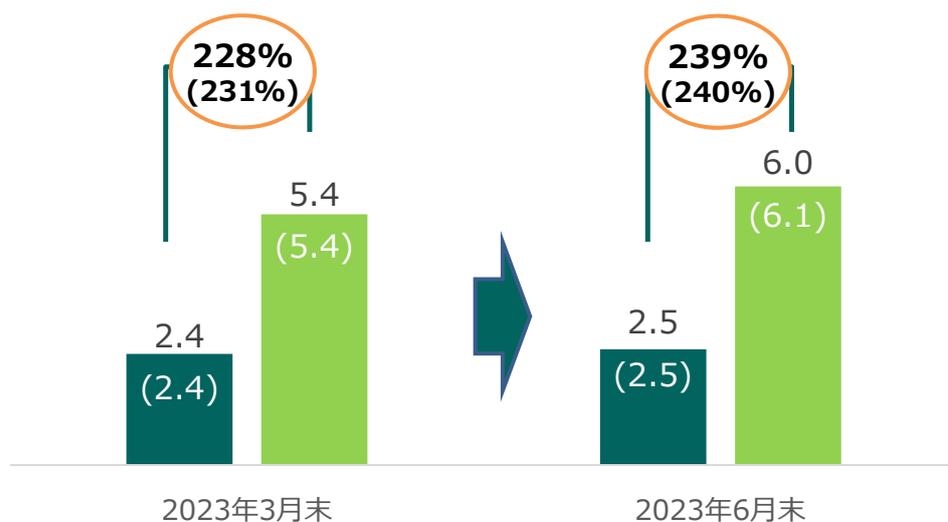
※ インカドロス＝正味支払保険金＋損害調査費＋支払備金増額

※ EI損害率の分母となるアード（既経過）保険料は、未経過保険料（除く自然災害責任準備金）・保険料積立金等を調整して算出

※ 「自然災害影響」は、当年度発生国内自然災害および海外自然災害のインカドロスの金額

ESR（注1）の状況

■ 統合リスク量(注2) ■ 時価純資産（兆円）
（）内はUFR適用時の参考値



<ESRの主な増減要因>
(2023年3月末対比)

ESRは2023年3月末から+11pt上昇。
✓ 内部留保の増加や市場環境の変動（円安等）により上昇。

<市場環境>

	2023年3月末	2023年6月末	対2023年3月末比
日経平均株価	28,041円	33,189円	+5,148円
国債30年金利	1.26%	1.24%	△0.02pt
為替（ドル円）	134円	145円	+11円

(注1) ESR：エコミック・ソルベンシー・レシオ（＝時価純資産÷統合リスク量）

(注2) 統合リスク量：信頼水準99.5%のVaR（Value at Risk）でリスク量を計測

IFRS 第17号に係る前期遡及適用影響

	2022年度第1四半期 四半期純利益(持分)	2022年度 当期純利益(持分)	2022年度末 純資産
IFRS17遡及適用前	604億円	1,615億円	3兆562億円
差額	177億円 説明： 主に割引率上昇による 保険負債(発生保険金 に係る負債)の減少	494億円 説明： 同左	832億円 主な内訳： 期首利益剰余金 285億円 当期純利益(持分) 494億円 保険契約準備金評価差額金 26億円 為替換算調整勘定 9億円
IFRS17遡及適用後	781億円	2,110億円	3兆1,395億円

この資料では、社名表示に次の略称を使用している箇所があります。

- ・ MS & ADホールディングス、持株会社 (= MS & ADインシュアランス グループ ホールディングス(株))
- ・ MS & AD (= MS & ADインシュアランス グループ)
- ・ 三井住友海上、MS (= 三井住友海上火災保険(株))
- ・ あいおいニッセイ同和損保、AD (= あいおいニッセイ同和損害保険(株))
- ・ 三井ダイレクト損保、MD (= 三井ダイレクト損害保険(株))
- ・ 三井住友海上あいおい生命、MSA生命 (= 三井住友海上あいおい生命保険(株))
- ・ 三井住友海上プライマリー生命、MSP生命 (= 三井住友海上プライマリー生命保険(株))
- ・ MS Amlin (= AUL、MS Re、AISE、ACSを主とする各事業の合計)

AUL (= MS Amlin Underwriting Limited)
MS Re (= MS Reinsurance※)
AISE (= MS Amlin Insurance SE)
ACS (= MS Amlin Corporate Services Limited)

※MS Amlin AGが2022年9月より使用開始したブランドネーム

「グループ修正利益、修正純資産、グループ修正ROE」の定義

グループ修正利益 = 連結当期利益 + 異常危険準備金等繰入・戻入額 - その他特殊要因（のれん・その他無形固定資産償却額等） + 非連結グループ会社持分利益

修正純資産 = 連結純資産 + 異常危険準備金等 - のれん・その他無形固定資産

グループ修正ROE = グループ修正利益 ÷ 修正純資産（期初・期末平均）

予想および見通しに関する注意事項

この資料に記載されている内容のうち、MS&ADホールディングスならびにグループ各社の将来に関する計画や戦略、業績に関する予想や見通しは、現時点で把握できる情報から得られた当社グループの判断に基づいています。実際の業績は、さまざまな要因によりこれらの業績見通しと異なる結果になり得ることをご承知おき下さいますようお願いいたします。実際の業績に影響を及ぼし得る要因としては、(1)事業を取り巻く経済動向、(2)保険業界における競争激化、(3)為替レートの変動、(4)税制など諸制度の変更、などがあります。

お問い合わせ先

MS&AD インシュアランス グループ ホールディングス株式会社
広報・IR部

TEL: 03-5117-0311

URL: <https://www.ms-ad-hd.com/ja/ir/contact.html>